



熊本県は、県が発注した2022年度完成工事約2800件の中から、22件を23年度優良工事に決めた。式典が3日に県庁地下大会議室であり、26社(うち1社は2件受賞)と技術者37人を表彰。田嶋副知事は「優れた技術と熱意をもって他の模範となる公共工事を完成された」と受賞者の功績を称えた。

熊本県優良工事表彰 2023

2800件から22件26社

お祝いの言葉

田嶋 徹 副知事



本日表彰を受けられました皆様には、他の模範となる素晴らしい工事を施工していただき、心から感謝申し上げます。これまで培ってこられた高い技術力と徹底した施工管理、そして熱意ある公共工事への取り組みが本日の栄えある表彰に繋がったと思っています。

半導体の拠点整備という国家戦略がこの熊本の地で展開されています。1兆円の投資額に国が5000億円を補助するもので、今は半導体のみならず「その他関連産業を含めて熊本に」という風も吹いています。このような100年に一度ともいえるビッグチャンスを実際に活かし、熊本県の各界、各地域に効果をしっかりと波及させることが、我々に課せられた仕事、課題だと認識しています。

このような中で、地域経済の下支えを担っていただいております皆様とともに、熊本県の発展と県民の安全と安心を守るために、カー杯連携しながら進めていきたいと思っています。

皆様には更なる技術の研鑽と継承に努めていただくとともに、ふるさと熊本のため、引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びに、受賞者の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

【式典挨拶より要旨】



謝辞を述べる宮川氏

表彰式では、田嶋副知事が一人ひとりに賞状を授与。受賞者を代表し、三洲建設の宮川昭吾取締役副社長が「いかにしてより良い工事を仕上げることができるか」に日々頑張っています。今回も、その信念のもと、熊本県の監督職員の方

部門毎の内訳は、土木一式12工事14社、建築一式1工事2社、電気・管1工事3社、舗装4工事4社、その他4工事4社。

表式では、田嶋副知事が一人ひとりに賞状を授与。受賞者を代表し、三洲建設の宮川昭吾取締役副社長が「いかにしてより良い工事を仕上げることができるか」に日々頑張っています。今回も、その信念のもと、熊本県の監督職員の方

表彰制度は、技術と施工意欲の更なる向上を図るとともに、施工者の社会的評価を高め、建設産業の振興に繋げようと06年度に創設した。要領は前年度と同じ。22年度完成の県発注工事は、県外業者受注分を含め2790件で、うち対象(県内企業請負金額250万円以上、工事成績評定点80点以上)が865件あり、除外規定(65点未満、許可業種毎の平均点、b評価未満、指名停止)をクリアした70件を審査した。

々と地元住民の理解を十分に得て工事を進めることができ、この表彰を糧に、今後とも精進します」と御礼の言葉を述べた。

Table listing award-winning projects and companies, categorized by department (Civil, Building, etc.).



土木78点・建築77点など 熊本県の業種毎平均点

土木78点・建築77点など 熊本県の業種毎平均点

熊本県は、23年度優良工事表彰に係る許可業種ごとの平均点(22年度竣工対象)を公表した。平均点は次のとおり(小数点以下切り) 土木一式78点、建築一式77点、電気79点、管78点、舗装78点、鋼構造物78点、塗装77点、防水77点、機械器具設置81点、電気通信78点、造園74点、井77点。

2023年度「熊本県優良工事表彰」受賞

Main table listing award-winning projects, companies, and contact information for 26 different firms.



2023年度表彰 優良工事

熊本県の社会資本整備に貢献します